

総数	2,471
男性	1,192
女性	1,279
世帯数	1,268

誰もが行きたく、住みたくなるまち
ひえだの」を目指して

寒冷の候、町民の皆様には益々ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は自治会運営に格段のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大が終息に至らない中、くれぐれもご自愛いただき、元氣にお過ごしください。

さて、自治会では、今、**既存集落まちづくり区域指定制度**の指定を目指して協議を重ねています。この制度は既存集落における地域活力や地域コミュニティの維持・活性化を図るために市長が区域と予定建築物の用途を指定して、指定区域内での自己用住宅等の指定用途の建築物を建てることを可能にするものです。

当町では、既存集落まちづくり区域指定制度推進委員会を設置し、学習会をはじめ四回にわたり委員会を開催して区域設定および建築物の用途について検討を行ってきました。

区長さんには大変ご尽力いただき、お陰様で当町のまちづくり区域案と建造物用途案を決定いただきました。今後、亀岡市で行政面での手続きが行われ、最終的に都市計画審議会の承認を経て決定されます。順調に進めば、来年度から、まちづくり区域内で自己用住宅と自己用兼用住宅の他、分譲住宅や店舗・飲食店、農産物直売所・農家レストラン、アトリエ事務所、簡易宿所及び診療所が建てられるようになります。

もう一つは**移住促進特別区域**の指定です。当町はすでに令和2年3月13日付けで指定を受けています。この区域とは空き家や農地（耕作放棄地）を活用して、移住の促進、地域活性化に取り組む地域のことです。

亀岡市では移住希望者を積極的に受け入れていくために、空き家バンクへの登録」を呼び掛けています。登録件数が少ない現状です。当町にも空き家が

多数ありますので、空き家をお持ちの方に、**空き家バンクへの登録をぜひお願いします。**登録いただくことで移住希望者に照会がしやすくなり、移住の促進につながります。自治会では今後、空き家の実態調査をし、**空き家バンク登録の手引き**を作成して、登録の呼び掛けをしていく予定です。また、移住を希望される方に菟田野町をよりよく知っていただくために菟田野町のガイドブック**集落の教科書**も作成しています。

令和二年度地域懇談会を開催

本年度の地域懇談会はコロナ禍の中で規模を縮小して7月13日に開催しました。亀岡市からは桂川市長、石野副市長をはじめ、幹部の皆さん12名が出席いただき、自治会からは自治会長、副会長、庶務会計、委員の六名が出席して懇談しました。地域のまちづくりプランに関するテーマでは、

- ①太田地内の願成寺川の治水対策
 - ②菟田野小学校前市道の安全対策
- について懇談をしました。いずれも本年度中に対策を講じるとの回答をいただきました。

- また、その他の要望事項として、
- ①佐伯下峠地内の幹線排水路の体積土砂の浚渫について
 - ②鹿谷地内のふるさとバスの運行継続について
 - ③市道湯の花温泉の歩道区間の早期完了について



④湯の花温泉地域の市道一号线・二号线の整備活用について
要望し、一部を除き、前向きな検討する旨の回答をいただきました。

小学校周辺美化作業を実施

8月23日(日)午前7時から自治会役員総出で小学校周辺の草刈りを実施しました。早朝からの涼しい時間帯の作業でしたが、さわやかな汗を流しました。



今年の敬老会は粗品をお届け

今年の敬老会はコロナ禍の中で、亀岡市の要請に基づき、例年のような宴会を取り止め、全員の方に粗品をお届けさせていただきました。亀岡市からの一人千円の補助金と自治会予算を合わせて、**松茸昆布の佃煮**と**胡麻ふりかけ梅山椒入り**を用意し、亀岡市の大河ドラマ館入場券・マスクと一緒に敬老会対象者全員の方に届けました。



自治会前広場で「フジバカマ」の 植栽作業を実施

自治会前広場の花壇を手入れして、9月27日(日)に自治会役員総出で「フジバカマ」を植えました。花壇に培養土を入れ、フジバカマの苗を植え、倒れないように支柱を立てました。以前は草茫々の花壇がすっきりした花壇に生まれ変わりました。

しっかりと根付いて、フジバカマの花がたくさん咲いて、願わくば、蝶の一種「アサギマダラ」が飛び回ってくれる日が来ることを楽しみにしています。



この作業に要した苗代や土代、支柱代等の諸費用は亀岡市「わが町の花づくり事業」補助金を活用してしました。



アサギマダラがやって来た

10月14日、役員総出で整備し、植栽した自治会前広場の花壇のフジバカマに四匹の「アサギマダラ」がやってきました。

このチョウは翅の模様が鮮やかで、翅を広げると10センチ程になる大型のチョウです。日本全土から朝鮮半島、中国、台湾、ヒマラヤ山脈まで広く分布し、長距離を移動することで知られています。

夏から秋にかけて、フジバカマ、ヒヨドリバナ、アザミなどのキク科植物の花によく集まり、吸蜜する姿が見られます。

フジバカマを植えて「アサギマダラを呼ぼう」という思いで始めたことですが、こんなにも早く巡り会えて感激しています。

これから多くさんのアサギマダラがやって来てくれることを心待ちにしています。



令和二年度戦没者追悼式を開催

10月25日(日)、英霊塔前において戦没者追悼式を挙行了しました。この追悼式は先の三大戦役(日清・日露・大東亜戦争)において亡くなられた128名の英霊に哀悼の意を表するために毎年開催しています。

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために遺族会のご理解を得て、規模を縮小しての開催となりました。

当日は稗田野町仏教会のご協力の下、亀岡市遺族会会長石野善司様には大変お忙しい中にも関わりませずご臨席をいただき、遺族会代表の方々のご参列の中で、お蔭をもちまして厳粛に挙行することができました。戦後75年が経過する中、尊い犠牲となられた戦没者の皆様に謹んで哀悼の意を表すると共に、2度と戦争を起ささないという不戦の誓いを新たにしました。



各区からの便り

下佐伯区

下佐伯農地・水・環境保全協議会では地域資源の質的向上を図ることを目的に、共同作物「きつまいも・亀丸芋」を植え付けから収穫まで行いました。

○準備作業 5月24日(日) 下佐伯区の区、農家組合、農地・水の役員で準備しました。

○植え付け 5月31日(日) 本年度は新型コロナウイルス感染防止のために役員のみで植え付けました。

○収穫10月18日(日) 新型コロナウイルスの感染防止のために、当日はマスク等を着用して、10人余りの子ども達で芋ほりを行いました。参加者にはおやつもあり、楽しいひと時を過ごしてくれました。



天川区

去る7月20日京都市府が主催し開催されたスマート農業の研修会に区長と副区長が参加しました。ラジコントラクターの草刈り機が法面や農道などをスムーズに刈り上げていきます。農業の担い手不足が深刻な中スマート農業の技術は必須です。天川地域ではスマート農業活用基礎研修会を2回に分けて実施。多くの農家や関係者の皆さんが参加されました。



各種団体からの便り

蒔田野小学校PTA

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、行事の中止が相次いでいます。運動会も中止が決定になり、9月19日(土)に例年とは違った形の「体育発表会」という形での開催となりました。

例年のようにたくさんの方に見に来ていただくことはできませんでしたが、子ども達は練習を重ねてきた成果を存分に発揮し、力を出し切ることができました。地域の皆様には日頃から見守り活動など、子ども達が安心して学校生活が送れるようにご支援ご協力いただき、ありがとうございます。



消防団蒔田野分団

平素は消防団活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

今年度は亀岡市消防団本部の新型コロナウイルス感染症拡大防止方針に基づき、当分団もほとんどの行事や訓練を自粛してきました。

しかしながら、火災や水害、地震などの災害はいつ起こるか分かりません。先日も市内での行方不明者の捜索に出動しましたが、当分団は日頃から資機材の整備や町内パトロールなど、有事の際に迅速な対応ができるように備えております。町民の皆様におかれましては火の取り扱いには十分ご注意ください。すよう、お願い申し上げます。

今後も消防団の行事や訓練は自粛や縮小が続くと思われませんが、状況に応じて再開してまいりますので



引き続きご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



青少年育成協議会

令和2年9月13日(日)午前8時から各区役員各位のご協力を頂き、第三回目の当事業を実施しました。古新聞・雑紙・古着・アルミ缶等、軽トラックにて廃品を回収していただきました。

なお、本事業の収益金は昨年度に引き続き、小学校用図書への寄贈・コミュニティスクール活動資金等に活用する予定です。

今後とも町民各位のみなさまのご協力をお願い致します。

令和2年8月23日(日)午前7時から、役員により、カラーロードの草刈りを実施いたしました。



子ども一〇番見守り隊 防犯パトロールベスト贈呈式に出席

当町では蕪田野小学校児童の登下校時に子ども一〇番見守り活動を実施し、黄色のベストを着用して児童の見守り活動を実施しています。

この度、蕪田野駐在所員野島さんのご尽力により、京都府警 府民協働防犯ステーション活動「事業の一環として、小学生がデザインしたシンボルマーク入りの防犯パトロールベストを作成し、蕪田野小学校から自治会に、日頃の見守り活動に対する感謝の気持ちを込めて贈呈するという取り組みを進めていただきました。11月16日に蕪田野小学校視聴覚室において防犯パトロールベストの贈呈式が行われました。六年生児童からお礼の言葉と合わせて54着のベストをいただきました。ベストの背中のシンボルマークは小学校の六年生児童が考案したマークです。地域の皆さんの日頃の努力が報われ、大変嬉しく思っています。

子ども達の感謝の気持ちが詰まった黄色のベストを大事に活用し、子ども達の安全・安心を守るために、これからも見守り活動を継続していきたくと考えています。



編集後記

今回は新型コロナウイルスの感染拡大により、行事の中止が相次ぐ中で原稿依頼にご協力いただき、何とか22号を発行することができました。ありがとうございました。

これからはインフルエンザ流行の時期にもなりますが、マスク着用、手洗い・うがいの励行、三密を避ける等を徹底され、お元気で過ごしてください。

来るべき令和3年が町民の皆様にとりまして、幸多き、良い年でありませう、ご祈念申し上げます。

編集委員

編集委員長… 竹岡 敏

編集委員… 美馬 秀二、美馬 正信、西村 一郎、大石慶明、八木正純(自治会)

推進委員(高木 麻希、齊藤 元輝(亀岡市コミュニティ))

編集委員長：大石慶明
編集委員：

竹岡 敏・美馬秀二・柳原善信・大西實好・藤野照雄
(自治会)
山崎浩久・高木麻希(亀岡市コミュニティ推進員)